

第14回みどりの社会貢献賞 募集要綱

目 的

「みどりの社会貢献賞」は、全国都市緑化フェアにおける普及啓発催事の一環として、企業緑地における良好な管理運営、都市における緑地の保全又は緑化の推進に関する取り組み等により社会及び環境への顕著な功績のあった企業活動を行っている企業等を顕彰することにより、企業等の主体的な都市緑化の取り組みの推進を図り、もって緑豊かな潤いのある安全で快適な都市の実現に寄与することを目的とする。

主催等

主催：公益財団法人 都市緑化機構

後援：国土交通省、第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会、一般社団法人日本経済団体連合会自然保護協議会（予定）

募集対象

国内で、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進や緑地の保全に関する各種活動を通じて、緑地の市民開放等による地域社会への貢献や、生物多様性保全等の環境改善等に顕著な功績が認められる企業緑地とその取り組み

応募方法

応募は、応募用紙を都市緑化機構ホームページからダウンロードしていただいた後、応募用紙及び審査関連資料を事務局にメール又は、郵送にて提出いただきます。

審査方法

有識者により構成される審査委員会において、審査を行います（審査委員は別紙1参照）。

なお、応募いただいた企業については、審査委員会開催前に事務局が指名する現地審査員による現地確認を行います。

【審査資料の提出】

「みどりの社会貢献賞」専用の応募用紙の提出のほか、現地審査および審査委員会に向けて必要な資料の作成、提出をお願いする場合があります。

【現地確認の費用負担】

審査結果の可否に関わらず、東京から現地までの交通費・宿泊費（前泊が必要な場合）等の実費2名分（調査員1名、事務局1名）をご負担いただきます。

【現地確認の免除】

当機構が実施する認定制度・表彰制度の審査において、過去3年以内に現地審査を受

審した記録を有する企業は、現地確認を免除する場合があります。

選考基準

全国都市緑化フェアの開催目的（別紙2参照）に合致し、これまでに SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）や緑の都市賞等の都市緑化等に関連する認定・表彰を受賞するなどの社会的評価を受けた全国の範となる企業緑地とその取組みで、以下の基準について総合的に選考します。

○地域社会への貢献

（例：緑地の地域への開放、地域のみどりに関する活動への支援・協力等）

○環境改善への貢献

（例：生物多様性の保全、地球温暖化への配慮等）

○先導性・広域性

表 彰

みどりの社会貢献賞 3点以内

全国都市緑化フェア期間中の全国都市緑化祭にて表彰を行います。

スケジュール

募集期間：令和8年1月5日（月）～令和8年3月31日（火）

書類確認：令和8年2月～4月

現地確認：令和8年4月～7月

審査委員会：令和8年7月～8月頃

みどりの社会貢献賞の決定：令和8年9月頃

表彰式：第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波（令和8年9月中旬～11月上旬）の期間内に開催される全国都市緑化祭において開催

第 14 回みどりの社会貢献賞 審査委員名簿 (予定)

| | | |
|-----|-------|--------------------------------------|
| 委員長 | 仙田 満 | 東京工業大学 名誉教授 |
| 委員 | 井上 洋 | 明治大学 国際日本学部 兼任講師 |
| | 北栄 階一 | 株式会社日本政策投資銀行 課長 |
| | 森本 幸裕 | 京都大学 名誉教授 公益財団法人京都市緑化協会 理事長 |
| | 柳井 重人 | 千葉大学大学院園芸学研究院 教授 |
| | 山崎 誠子 | 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授 |
| | 望月 一彦 | 国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長 |
| | 清水 由士 | 第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 事務局長 |
| | 棚野 良明 | 公益財団法人都市緑化機構 専務理事 |

(令和 8 年 1 月現在)

全国都市緑化フェアの開催目的

(全国都市緑化フェア開催要綱 国土交通省 より)

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とするものとする。